



一粒の麦



社会福祉法人エデンの園

2024年1月20日

ひとつぶのむぎ

明けまして おめでとうございます！



コマ回しに挑戦！

聖書のことば

一粒の麦は、地に落ちて死ななければ、一粒のままです。
しかし、死ぬなら、豊かな実を結びます。(聖書 ヨハネの福音書12章24節)

～年頭の所感～

社会福祉法人エデンの園 理事長 宇都宮 知敬

2024年の年頭にあたり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えになられたことと、心からお喜び申し上げます。

社会福祉法人エデンの園も創立47年目を迎えることができました。

これもひとえに皆様方のご支援の賜物と、心より感謝申し上げます。

昨年度は、法人理念も一新しご利用いただく利用者の「普通に暮らすこと」を支える法人でありたいと思っております。その取り組みの一環として地域共生社会、地域で生活されている利用者を支える法人の取り組みとして、1月に社会貢献・地域貢献として“法人後見センターひかり”の開設、9月に佐土原町で運営していた“つむぎサテライト事業所”を新富町に移転して新たに“結（むすび）”併設事業所として相談支援事業所“るるテラス”を開設しました。そして、10月には“エデンの園ふれあい”を西都市に移転して“あゆむ”として開設いたしました。

また、これまでの社会生活を一変させた感染症の終息にともない、今後を見据えた動きとして感染症の予防やBCP（事業継続計画）の作成、虐待防止に向けた権利擁護の推進など新たな取り組みとして実践しております。他にもウェブ会議の活用による事業運営の効率化など組織としてICT化を推進した1年でした。今後は、介護ロボッ

トやAIの活用などの労働環境の改善により、人材の確保定着、業務の効率化を更に加速させる必要を感じております。

今年4月には制度改正も控えており、福祉のあり方が大きく動く中で、社会の変化に適應していくために、私共の運営する障がい福祉サービス事業、法人後見事業、介護保険事業などのサービスの充実に取り組んでまいります。

本年も、ご利用いただいている皆様、地域の皆様、そして職員にとって、欠かすことのできない法人となれるよう誠心誠意努めてまいります。これまでと同様にご支援賜りますようどうぞよろしくお願い申し上げます。

本年が皆様方におかれまして良い1年であることを心より祈念して、年頭の挨拶とさせていただきます。



(それぞれの事業所からのご挨拶)

エデンの園 第1福祉課

●エデンの園



クリスマス会♪

今年のクリスマス会は、利用者、職員がホールに集まり開かれました。祝会ではシンガーソングライターが来られました。クリスマスソングや利用者さんとデュエットし「涙そうそう」を歌唱されました。職員からの催し物では、ジャンボリーミッキーのダンスを披露し、利用者の皆さんは手拍子し楽しんで参加されました。昼食には、豪華なおードブルやジュースが準備され、満足そうに食べられていました。クリスマス会が終わった後には「楽しかった。」「ごはんが美味しかった。また食べたい。」と声が聞かれました。エリアごとに飾りつけも行い、クリスマスの雰囲気味わえました。

障がい者福祉施設エデンの園 生活支援員 河野 仁美



●エデンホーム三名

ホーム全体で忘年会を行いました☆

12月27日の夕方より、エデンホーム三名全体で望年会を実施しました。今回も旧ふれあいのシャロームにて行い、寒い中温かい鍋を食しながら、カラオケやプレゼント渡しなど催し物を楽しみました。コロナの影響もあり、これまで全体行事があまり行えていませんでしたが、夏のBBQに次いで、今回もお互いのホームで試行錯誤しながら、楽しい望年会を開催でき大変良かったと思います。次来るは辰年で、また新しい年度の始まりを迎えます。コロナも今年になって第5類へとなり、対応等も緩和とされました。来年は今年以上に利用者の「楽しみ・充実」という部分を追求し、生活満足度のアップに向けて職員一同頑張っ参りたいと思います。

世話人兼生活支援員 保利 翼

●びえんと指定居宅介護支援事業所

私たちの事業所はこういうところです♪

びえんとが開所になって早くも2年を迎えようとしています。改めまして私たちの事業所はこういう職種がいて、どういった業務を行っているのが今回紹介させていただきたいと思います。

居宅介護支援事業所とは、介護保険サービスを受ける要介護者の在宅介護に関する相談や計画、連絡・調整を総合的に引き受ける事業所です。主任ケアマネジャーやケアマネジャーが常駐しており、サービスを受けるために必須のケアプラン（介護サービス計画書）を作成するため通称ケアプランセンターとも呼ばれています。

Viento（びえんと）とは？

スペイン語で「風」を意味します。当事業所でも、風のように地域を駆け巡る支援ができるようにとの意味を込めて事業所名とさせていただきます。

居宅介護支援事業所 びえんと 管理者 長友 茂



エデンの園 第2福祉課

●就労継続支援 B型事業所 つむぎ



久しぶりにお食事会を行いました！

冬恒例の大根収穫のお仕事も12月上旬で終了しました。連日、汗かきかき泥まみれになりながら頑張っていたいただき農家さんからは「ありがとう、又来年ね」と労いの言葉をかけられ利用者さんも達成感を味わえたようです。ここ数年、望年会も自粛しておりましたが今年はお出かけしての食事会を開催しました。酒泉の杜「綾ぐるめ」さんのご協力で「雅膳+限定葡萄ジュース」のセットを注文、刺身・レタス巻き・大きな海老の天ぷら等々召し上がり、皆さん口々に「美味しかったあ」と喜んでおられました。食後はガラス工房や葡萄酒醸造所などを見学して帰って来ました。帰ってからはカラオケ大会・おやつタイム・プレゼント交換を行い、ストレス発散に十八番を歌ったりデュエットもあったり…笑顔で歓談したり…あちこちで笑い声が聞かれました。楽しい1日を過ごしていただきよかったですと思います。



今後もご家族のご理解をいただきながら、仕事を通じて社会と地域との共生を目指して頑張ります。

就労継続支援B型事業所 つむぎ サブリーダー 中村 達也

●エデンホーム森永 (青い鳥・ほのか)

懇親会を行いました！

10月28日土曜日 エデンホーム森永ではほのかで、家族・後見人さんとの懇親会を行いました。家族・後見人さんは10名参加されました。バーベキュー、豚汁、おにぎりを美味しくいただきながら、当たり前の日常が戻ってきた喜びを味わいました。この3年コロナ感染予防の為、外出や帰省が制限され窮屈な日々を過ごしていましたが、久しぶりに家族と会い、談話をすることで笑顔がたくさん見られました。

サービス管理責任者兼支援員 町田 紀恵

●放課後等デイサービス 麦わらぼうし



クリスマス会を開催しました！

12月25日に麦わらぼうしでクリスマス会を開催しました。児童の出し物でダンスやクイズをして楽しんだり、職員の出し物を見てみんなで笑ったりと、笑顔がいっぱいで子どもも大人も楽しめたクリスマス会になりました。なんとサンタさんもプレゼントを持ってきてくれて、みんなで一緒に写真を撮りました。更に今年は、去年は時勢もあって実施できなかったご家族の呼びこみができました。中には初めて参加したという方もいらっしやって「とても面白かったです。」と言って頂けました。

インフルエンザなどの感染症が流行る時期ですが、感染症対策を十分に実施し、子どもや家庭への支援を続けていきたいと思ひます。

放課後等デイサービス麦わらぼうし 児童指導員 中武 工





エデンの園 第3福祉課

●生活介護事業所 あゆむ

Merry Xmas

12月22日、西都市山田に新設して初のクリスマス会が催されました。当日まで利用者さんたちと職員が力を合わせて館内の装飾や催し物の準備にあたりました。

クリスマス会は午前クリスマス礼拝、午後クリスマス祝会と2部構成で行い、昼食はクリスマスランチを堪能していただきました。初お披露目となった“あゆむバンド”も日頃の練習の成果を発揮でき、その他の利用者さんたちも音楽に合わせて思い思いのダンスをされていました。一日通してとても賑やかなイベントとなりました。

今回の成功を受けて、来年のクリスマス会は、地域の方々も交えてもっと楽しく賑やかなイベントにしていきたいと思いました。

あゆむ サービス管理責任者

光 森 勇 人



エデンの園 第4福祉課

●就労継続支援B型事業所結(むすび)

●相談支援事業所 るるテラス

結(むすび)が令和5年9月に新富町に開所してから、はや5か月が経ちました。結は、新たにできた第4福祉課の就労継続支援B型事業所で、利用者様が福祉施設等の清掃作業に出かけ工賃を得ています。利用者様は作業に慣れてくると自ら動かれ、お互いに協力しながら作業に取り組んでいます。継続してお仕事ができるよう支援していますが、職員も一緒に成長している毎日です。

12月28日には、第3福祉課のあゆむと合同で望年会としてバーベキューやカラオケを行いました。当日は、参加するためにオシャレしてきた利用者様もいらっしゃり、楽しい1日になったようでした。

結：渡部 強士



相談支援専門員のお仕事を通して感じていること

「春は夜桜、夏には星、秋には満月、冬には雪それだけで酒はうまい」なんて言葉をどこかで聞いたことがあります。春の陽気さ、夏の暑さはどこへ行ったのやら季節の変わり目をあまり感じることなくあつという間に冬の季節がやってきましたね。

さて、今年度より相談支援事業所に配属となり、9月からは新富町に新設されました相談支援事業所「るるテラス」で相談支援専門員として過ごしております。4月より全くの新しい職務内容で毎日、毎日あたふたしている日々を過ごしておりますが職場の先輩方、職員の皆様、関係事業所や市町村役場の皆様などなど色々な職種の方々に助けをもらいながらお仕事を進めている毎日です。本当に感謝の言葉しかありません。

相談支援専門員のお仕事を始めて早9ヶ月が経とうとしていますがこの期間に様々な方々と出会う事ができそれと同時に相談支援専門員のお仕事の大切さ難しさを感じることができました。それは、福祉サービスの利用が必要な子ども達に関することではご家族や学校の先生、保育園、こども園等児童福祉施設職員、各役場の保健師、職員等様々な人々との繋がりを持つようにしそこに、子ども達の想いをくみ取り話し合いより良い方向へ導いていくことの大切さを学ばせてもらい、成人の方々では同じように病院の職員や事業所職員はもちろんのこと当事者の方の想いこんな生活がしたい、以前のように1日の中に働く時間を作りたい、など人生のリカバリーを支える大切な役割があるのかなと感じる毎日です。そんな日々を送っているなか頭の中に不意にある一つの言葉がでてきました。

ソーシャルインクルージョンという言葉があります「社会的包摂」という意味ですこれはいわば共生社会を表す言葉とも言えます。1年前までは正直こんなこと「無理だろう」という思いがありましたが、この9カ月を通してみると、右も左もわからず「あたふた、あたふた」して頼りない私を支えてくれる人々のなんと多いことが、そんなことを考えるとこの「共生社会」の実現もそう難しくはないのかもしれないと感じさせてくれた9カ月でした。子どもから大人まで、福祉サービスの利用・社会的援助が必要になった方々や遠い国から来られた在日外国人の方々等すべての人が安心して明るい将来が見えるそんな日々を暮らせる世の中になってほしいと思います。

寒暖差の激しい日々が続いております皆様体調に気をつけて「春・夏・秋・冬」の季節のうつろいを楽しみながら元気に過ごしていただければ幸いです。皆様の1年がよい1年であることを願います。

土曜学校メッセージ

金桓基牧師（宮崎めぐみ教会）、印慶子牧師（宮崎柳丸キリスト教会）、
荒平大輔牧師（宮崎北聖書キリスト教会）・津村牧師（川南せせらぎ教会）
山口英希牧師（宮崎清水教会）・浅野謙牧師（霧島キリスト協会）

Facebook・HPのご案内

社会福祉法人エデンの園では、季刊誌『一粒の麦』だけでなく、FacebookやHPも開設しております。利用者さんの日常やイベントなどが随時配信されていますので、ぜひご覧ください。



寄贈品・寄附金ありがとうございます。(11月～1月)

湊玲子様、山手えり子様、湊雄大様、田爪節子様、国富町介護保険係様、田代憲司様、高島所長様、辻脇茂幸様、
宮王丸郵便局様、上野聖子様、濱砂武志様(ご家族様)、野元あゆみ様、横山時義様、横山武義様、坂本匡久様、
ライフサポート様、都城点訳音訳友の会様、マックスバリュ様



朝夕の大気の寒さはあるものの中は暖かいなるとも寒暖差のある中、新しい年を迎えました。今年は辰年です。「辰」というと天に上る竜の絵を思い浮かべますが社会福祉法人エデンの園も年々事業所が増え、現代社会に合わせた福祉サービス、地域支援を進めています。本年も皆様のお力を借りつつ天に昇る勢いで、とまではいきませんが少しずつ前に進んでいければと思います。本年が皆様にとって良き1年でありますように心からお祈りいたします。

相談支援事業所 るるテラス 谷 口 博 孝